

広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

- きのくに21** 日曜 9:30・(再) 18:30
 8月 5日 わかやまの魅力を世界の子供達に
 ～訪日教育旅行～
 8月12日 まちを守る消防団
 8月19日 世界との対話と協働
 アジア・オセアニア高校生フォーラム
 8月26日 知事と語る

県民チャンネル

月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

毎月最終金曜 19:30～19:59

ラジオ 和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00
 ※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40～16:00
 放送内容・時間は都合で変更する場合があります。



第32回全国健康福祉祭和歌山大会

ねんりんピック

紀の国わかやま2019

あふれる情熱はじける笑顔

2019年11月9日(土)～12日(火)

ねんりん
通信
②

協賛イベント募集中!!

和歌山大会の多彩な展開を図るとともに、県民の参加意欲の醸成を図るため、大会の開催趣旨に賛同する市町村、関係機関、団体および民間企業などが実施する協賛イベントを下記のとおり、広く募集します。

募集期間: 2019年7月31日まで
申込方法: 下記URLにアクセスし、申請書をダウンロードの上、事務局まで、郵送又はメールにてお申し込みください。
<https://nenrin-wakayama2019.jp/2018/05/31/1915/>






問 ねんりんピック紀の国わかやま2019
 実行委員会事務局
 ☎073-441-2570 (ねんりん 和歌山)

【広告】 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



就職をめぐる
2つの誤解

和歌山県は日本全国の中でも高齢化が進み、人口減少が顕著な県です。その原因の1つは、長い間若者が県外に就職することが多く、若者の流出が大きかった事が挙げられます。そのきっかけとなったのが、県内に大学が少なかったということもありますが、高校卒業者も、県外に就職することが多かったのです。その際に若者もその家族も、2つの思い込みをしていたと思います。1つ目は県内には働き口がないということ、2つ目は和歌山で働いたら損をするということです。これらはいずれも間違い、誤解です。

まず、和歌山には働き口がいっぱいあります。求人がいっぱいあるのです。むしろ人が採用できなくて成長が阻害されているほどです。それを明らかにするために、和歌山県は、和歌山県の企業の求人情報を集めて、「わかやま就職ガイド」を作りました。いわば和歌山版リクルートブックです。大学卒業予定者向けと高校卒業予定者向けの2種類作りまして、高校生用は就職希望の高校生全員に配りました。大学生用は、高校卒業時に出してもらった希望配付先住所にお送りしていますので、もし届いていないぞという方にはどんどん差し上げます。それぞれ150ページの冊子に1ページ2社ずつの求人がどっさり入っていますが、それが和歌山の働き口の本当の姿なのです。

第2に和歌山で働くと、少々東京などの大都会より初任給は低いのですが、住居費は東京の方がずっと高いですから、これだけでも手元に残るお金は和歌山の方が多くなります。和歌山で働いた方が損どころか得なのです。さらに通勤地獄、地価高、住宅難、保育所の待機児童など、どんどん比べていくと、どちらが得かよく分かってくると思います。

人生は1回限りですから、間違った先入観に流されて安易に就職を決めないで、どこへ就職して、どこでどういう暮らしをしたら一番自分にとって良いか、よく考えて就職して欲しいと思います。そうすれば、もっと県内に多くの若者が残ってくれると思って、和歌山県は正しい情報提供に努めているのです。

和歌山県知事 **仁坂 吉伸**

☎手話表現紹介動画はこちらから

